



平成 21 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社ナナオ  
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆  
(コード番号 6737 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 総務・経理担当  
経理部長 出南 一彦  
電話番号 076 (275) 4121

## 第三次中期経営計画策定に関するお知らせ

### “ 圧倒的 No.1 を目指して ”

株式会社ナナオ(本社:石川県白山市、代表者:代表取締役社長 実盛 祥隆)は、2009 年度を初年度とする第三次中期経営計画(3ヵ年)を策定いたしましたので、その概略についてお知らせいたします。

#### .中期経営方針

第三次中期経営計画では、当社が培ってきた、モニターを核とした映像機器の総合的な開発力・商品化力を最大限に発揮し、顧客からの圧倒的な支持を得続ける企業として事業基盤を一層強化してまいります。そのための取り組みとして、

重点市場(医療市場、グラフィックス市場、及びアミューズメント市場)において、他社の追随を許さない、圧倒的な No.1 企業となります。その為、これらの分野における積極的な投資を継続します。

産業市場向けを当社の新しい事業の柱として垂直立上げします。

究極のリーンな経営を実現します。

(1) 医療市場では、当社は業界随一のモニターをラインナップし、加速する医療のフィルムレス化に貢献し、また電子カルテ用途や超音波診断装置にも積極的な展開を図り、2008 年度までにおいて、リーディングカンパニーとしての地歩を築きました。今後は、導入後の当社製品を快適な環境で使用いただくためのサポートに一層力点を置く他、独子会社 EIZO GmbH の事業を梃子にモダリティ分野を強化、また、内視鏡用途や手術室分野にも幅広い展開を行っていきます。

当社ならではの仕組みとサービスにより、当該分野での圧倒的な No.1 企業としてユーザーの信頼と利便性を飛躍的に高めてまいります。

(2) グラフィックス市場においては、他に例をみない当社独自のモニターの製品開発・商品提案を行うことにより、当社自ら市場を創出し、またその拡大に努めてまいりました。グラフィックス市場のニーズは印刷業界のようなプロフェッショナルから、デジタル一眼レフカメラを利用するハイアマ

チュアまでに裾野が拡大しており、当社はそうした静止画市場の一層の拡大を推し進めることに加え、制作プロダクション、アニメーションといった動画市場への取り組みも強化し、世界のトップメーカーとしてさらに成長いたします。

(3) 産業市場では、独 eg-electronic 社からのモニター事業の買収を梃子として、顧客の要望に一層柔軟に対応できる体制を整備し、カスタマイズに迅速に対応して事業の垂直立上げを行います。

(4) ATC 市場では、同じく eg-electronic 社の ATC モニター事業を当社グループに加えたことで、当社の ATC 市場における体制をさらに強化いたしました。米国・欧州・日本の 3 拠点にて製品・技術面でも相互に補完しながら、ATC 市場向け製品のグローバルな販売体制を加速いたします。

#### **.数値目標**

本計画最終年度となる 2011 年度には、売上高は 2008 年度予想比 23.3%増の 900 億円、営業利益は同年度予想比 80.0%増の 90 億円の達成を目指します。

#### **.株主還元方針**

従来より当社は株主の皆様への利益の還元が経営上の重要課題と考えており、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としてきました。

今後も、事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら株主の皆様へ利益の還元を行ってまいります。

株主様への還元率は、当期純利益の 30%から 40%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤の強化に努力してまいります。

#### **(見通しに関する注意事項)**

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

以 上